

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成23年6月27日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる

ban-4@ares.eonet.ne.jp

第16号

こんにちは、ばんよしはるです。まだまだ蒸し暑い日が続きますが、お元気ですか。近年、異常気象とも言える状況が続いておりますので体調管理にくれぐれも気をつけてください。

特に、電力不足はこれからがピークとも言われており、まだまだ安心はできない現状です。

現在、斑鳩町役場では約1000灯ある蛍光灯を300灯消灯しておりますが、住民サービスの低下を招かないように常に気配りをしながら運営に努力しなければなりません。

このような省エネ対策も大切なことですが、将来的には自力で電気を確保することも視野に入れる必要があります。なにしろ、役所がもしストップすれば、婚姻届や契約のときなどに使用する印鑑証明が発行できないような事態になってしまうからです。

今回の「瓦ばん」は、これからの4年間の議員活動について書きます。

私の今の想いは、皆さんからのいろいろな話を聞かせてもらったなかで、自分自身もこのままではいけないと思えることを少しでも実現に向かって活動していきますので、応援をお願いしたいのです。

一例をあげますと、なんとかしなければいけないのは、県立三室病院前の国道25線の歩道についてです。

県立病院の前の歩道と考えれば、なんと危険な歩道です。

この歩道は国の管轄になることから、いままで町に対しては国への要望として、また直接国に対しては、現在とても危険な状況にあり、「事故が発生してからでは遅い、人命を最優先に考えない事業になるようではダメだ。いかるがパークウェイのことだけを考えているのであれば、本末転倒になる」と訴えてきました。

これは、一つの例です。

これからの行政は新しい時代に対応した変化が求められています。

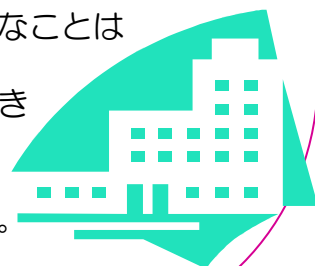
これからの行政は事業の選択の時代です。

いろいろな事業を同時に平行して進めるより、はっきりと優先順位を明確にして、住民に情報公開するようにならなければ、財政上の問題が心配になります。

町と住民の皆さんの想いが一つになり、その想いが強ければ、不可能なことはないはずです。

今後とも議会報告をさせていただき、皆さんの想いを聞かせていただき活動していく所存です。

まちの未来は、皆さん一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。